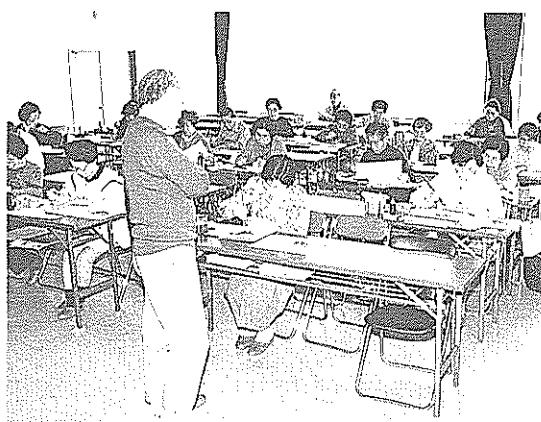


# われら サークル仲間 和氣あいあいと 墨絵教室



中央公民館には一教室十一  
サークルがあり、文化祭への出  
展などいろいろな活動が行われ  
ています。年齢、職業はさまざま

水墨画を習い始めてからもう  
九年が過ぎてしまった。広報

で墨絵教室の始まる」と  
を知り、申し込もうとしたとき「あなたが絵を」と  
私のかみさんがさも驚いたような目で言ったこ

とを思い出す。

初めての習い日に中央公民館に出かけたら、こ  
ともあろうに委員長の役をくくりつけられた。次

の習い日からみんなより早く出かけて机を出し腰掛けを運んで準備をしなければならなかった。苦労したが、やがてわかつてくれてかみんなが手伝ってくれるようになつた。

年末最後の習い日に

水墨画を習い始めてからもう九年が過ぎてしまった。広報で墨絵教室の始まる」とを知り、申し込もうとしたとき「あなたが絵を」と私のかみさんがさも驚いたような目で言ったこと

を意味箱を用意して書いてもらひ、それぞれの意見を手書きの「墨絵新聞」を作つて載せた。一年、そして二年とたつうち、「墨絵新聞」を作つて載せた。

教えてくれる西本信崇先生の優しい人柄と、その教え上手に加えて、習うみんなの熱心さとお互いの思いやりが、何となくほのぼのとした楽しい墨絵教室にしていった。

一人の先生に三十人ほどの弟子で、手を取つて教えを受けるとなると、譲り合いの心がなければスムーズにやれようはずがない。ずっと和氣あいあいと続けられてきたこの墨絵教室を私は自慢したい。

一昨年の五月十一日、墨絵教室に出てきた今年の干支の馬を六十枚ほど色紙に描いたが、満足なのは一枚もない。

馬ばかり飽きずに描く  
われに向き  
もの言いたげな妻の眼に合つ

ますが、それぞれサークル仲間の和が広がって、毎回楽しく受講している皆さん。

その触れ合いの場を紹介します。今回は中岡俊夫委員長を中心におじやしましました。

三十四人が活動している墨絵教室におじやしましました。

までは、家庭の主婦が多いこともあって、墨絵会のような忘年会を行つた。これはたいへん喜んでもらえた。みんなからの意見を意見箱を用意して書いてもらひ、それぞれの意見を手書きの「墨絵新聞」を作つて載せた。

一年、そして二年とたつうち、「墨絵新聞」を作つて載せた。

南国郵便局に私たち墨絵教室の作品を展示させてもらつた。昨年の一月には、新装なつた

ぶん気が紛れた。絵を習つていて良かったと思つたことだった。昨年の一月には、新装なつた

年文化祭には四十二点の数多

い作品を出品した。

皆さん上手になられて私だけ

が取り残されたようだが、それ

でも鮎を描けば秋刀魚には見え

ないし、馬でも鹿と見間違えら

れることはない。

こうした触れ合いの場が浅字

な私にはいつまでも必要だと思

う。

昨年末に習つた今年の干支の馬を六十枚ほど色紙に描いたが、

満足なのは一枚もない。

馬ばかり飽きずに描く

われに向き

もの言いたげな妻の眼に合つ

交通事故に遭つた。入院五ヶ月。右腕はがんじがらめに縛られ、足も車椅子の世話になつてゐた。

一ヶ月が過ぎ一ヶ月が過ぎる」

には、心の方が傷つき、イララして、それを押さえる術さえなくしていた。

ある日ふと思いつき、画帳とデッサンを始めた。病院での作品を文化祭に出品してからずい

6Bの鉛筆を買ってこさせ、

イラして、それを押さえる術さ

えなくしていた。

ある日ふと思いつき、画帳と

デッサンを始めた。病院での作品を文化祭に出品してからずい

6Bの鉛筆を買ってこさせ、

イラして、それを押さえる術さ

えなくしていた。

ある日ふと思いつき、画帳と